



道の駅国見あつかし郷 祝開業2周年。

▲青空のもと行われたバルーンパーク



▶くにみ米をプレゼント

開業2周年記念セミナー

4月27日、開業2周年を迎える道の駅国見あつかしの郷で、太田久雄町長、小浪尊宏福島河川国道事務所長ら関係者が出席した記念式典では、開業2周年を記念してバルーンパークが行われました。式典の後には、来場者へのくにみ米プレゼントやフォークソングデュオ「とちおとめ」によるライブ演奏、バルーンアートなどのアトラクションが行われ、セレモニーを盛り上げました。



- 1 町内の文化団体などがステージを盛り上げてくれました
- 2 2周年を記念して「ちびっこ餅つき」が行われ、子どもたちが参加。つきたての餅は来場者に振る舞われました

道の駅国見あつかしの郷が開業2周年を迎え、記念イベントが5月3日、4日の2日間にわたって行われました。イベントに先立ち、太田久雄町長が「一昨年の5月3日にグラントオープンした道の駅国見あつかしの郷が2周年を迎えました。皆さまにご愛顧いただき、来場者は345万人以上となりました。これも皆さまのご支援のおかげです。これからも道の駅国見をよろしくお願ひします」とあいさつ。

2周年記念イベントを開催

特設ステージでは各種団体による踊りや歌などが披露され、開業2周年に華をそえました。4日には伊藤咲子さんによる歌謡ショーが行われ、来場者は伊藤さんの伸びやかな歌声に聴き入っていました。道の駅では連休中にさまざまなイベントが行われ、県内外から多くの家族連れなどが訪れ、賑わいをみせていました。



徳江廃寺跡の出土瓦（大字徳江字団扇）

徳江廃寺跡は明治時代から古瓦の出土として知られ、昭和40～50年代には小規模な発掘調査も行われています。表採や発掘で得られた瓦は奈良～平安時代の遺物で、六弁と八弁の蓮華文軒丸瓦（①・②）、旋回花文軒丸瓦（③）、重弁蓮華文軒丸瓦（④）などが見られます。①・②は信夫郡定額寺西原廃寺跡、③は信夫郡街付属寺院腰浜廃寺跡、④は陸奥国府多賀城跡・陸奥国分寺跡と同じ模様の軒丸瓦であることから徳江廃寺跡が信夫郡北部地域において極めて有力な寺院であったことがわかります。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】

～今月の表紙～



国見小学校で行われた入学式。退場シーンではすっかり緊張がほぐれ、みんなで仲良く笑顔で退場していました。これからはじまる学校生活では友達とたくさんの思い出を作ってくださいね。

『国見のたからもの』No.60

目次

- 2 目次
- 3 道の駅国見あつかしの郷開業2周年
- 4 長期研修生入講くにみ農業ビジネス訓練所
- 地域おこし協力隊紹介
- 5 町内会長会議
- 6 笑顔のひろば
- 8 奨励金交付、小さな天才たち
- 9 歴まちさんぽ
- 10 まちのわだい
- 12 保健だより
- 14 ぐらしの情報
- 18 生涯学習つうしん
- 20 カレンダー